

～栃尾支所周辺の公共施設再編の方向性～ 栃尾地域 交流拠点施設等整備基本構想 概要版

1. 構想策定の背景

- 栃尾支所周辺の一部の公共施設には、老朽化や、耐震性の不足といった問題があります。また、栃尾地域では、人口減少に伴う活力低下が懸念されています。このことから、老朽化した施設を効果的に集約し、住民の交流と活動を誘発して地域の活性化を促進する、新たな施設の整備を検討する必要があります。
- このことから、栃尾支所周辺の公共施設の再編及び交流拠点施設の整備について、以下のとおり基本的な考え方をまとめます。

2. 栃尾支所周辺における公共施設の再編の方向性

- 旧丹佐跡地を活用し、多世代交流の場や、多様な市民活動の空間を創出する「栃尾地域交流拠点施設」を整備するとともに、公共施設の再編を推進します。

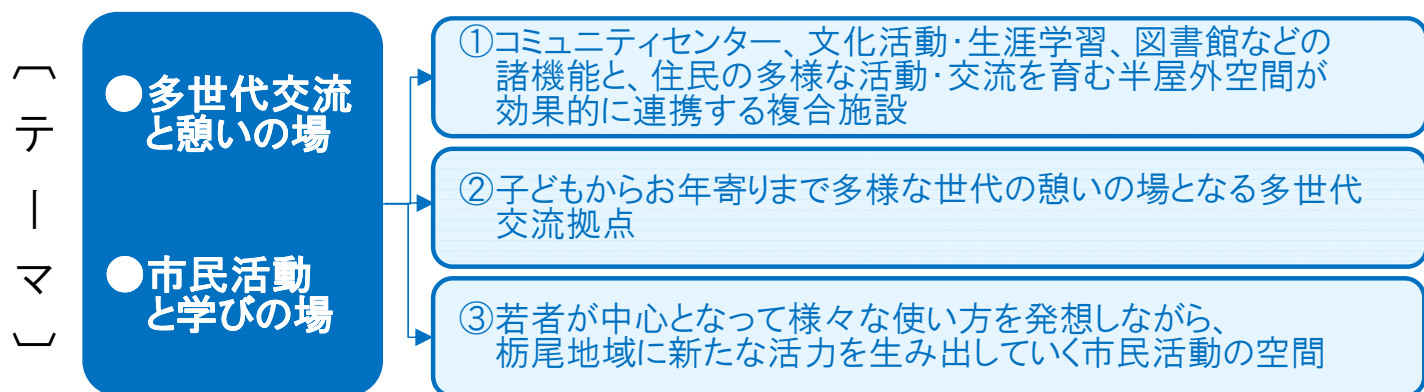
《再編の構図》



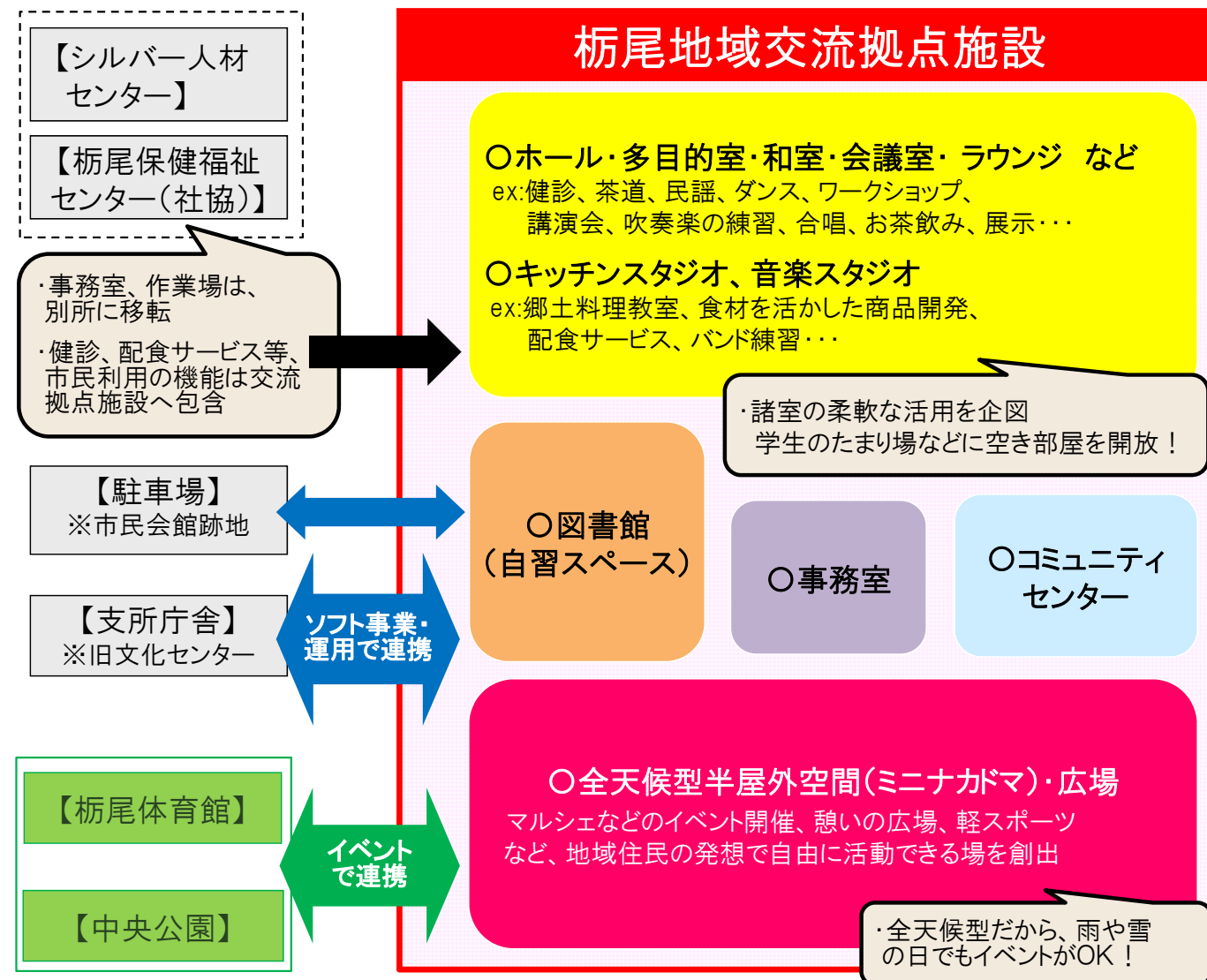
3. 交流拠点施設の整備の方向性

(1) 施設整備のコンセプト

〔コンセプト〕



(2) 交流拠点施設及び周辺の施設との連携



(3) 事業規模

- 規模(目安)
- 延床 3,500㎡程度を想定
- ※「全天候型半屋外空間(ミニナガマ)」については、施設との一体的な空間利用や雪処理を念頭に、設計のなかで規模を検討します。

(4) スケジュールの想定

- 平成30年度 設計・施工発注方式の検討
- 平成31年度 事業者の公募・選定及び設計着手
- 平成32年度 交流拠点施設建設工事着手
- ～34年度 供用開始(予定)

4. 今後の検討課題について

- (1) 民間事業者のノウハウを活用することにより、建設コストの低減や工事期間の短縮等が期待できる発注方式を検討する必要があります。
- (2) 市民の視点に立った自由度の高い運営・管理体制と安全・安心な施設管理について検討する必要があります。
- (3) 栃尾体育館及び中央公園は、交流拠点施設と連携した活用を検討する必要があります。